リーディングDXスクール事業 【実践事例】

瀬戸内町立諸鈍小学校(鹿児島県)【指定校】 瀬戸内町立西阿室小学校(鹿児島県)【協力校】

【取組内容】少人数における学習者主体のリモート授業

(例)国語 5 年「きいてきいてきいてみよう」(単元を通した学習 全 5 時間)

導入

児童生徒が,授 業の見通しを しっかりもって 授業に臨むこと ができる。





○「Googleスライド」を黒板の代わりにして進め、目標や単元全体の流れを確認しました。

展開

中心発問につい て児童生徒それ ぞれが思考する ことができる場 面を設定する。



2 インタビューのためのメモを用意しよう (p47) 前回の復習! 「きき手」→質問しインタビューをする人。
「話し手」→きかれたことに答える人。

①: 友達のことをもっとよく知るためのインタビューをじょうずに進めるには、
どうしたらいいのだろう? (3人トークタイム)

⇒話の内容をうまく引き出す。質問をいっぱいする。質問した後に相手の回答が
来るまでます。

・質問に対する答えを干想し、どんなやり取りになりそうか考えて、インタビュー用のメモを書きましょう。

・前回考えた話録や回覧の中から、大きな話録ーつにしぼろう。その同じ話題の

中で、質問を5つくらいにふくらませる。



であるできる</li

〇友達や自分の 発表について感 想を「コメン ト」で伝え合い ました。 ○「ジャムボード」を使って, 質問やその回答を予想させま した。

〇「リモート画面」「黒板代わりのスライド」「自分の考えを整理するジャムボード」など、複数のアプリを使うため、画面の切替え操作にも慣れていきました。)

○いつも一人で学んでいる児 童が対話しながら学べるよう に配慮しました。

終末

学んだことを振り返り、自分の ことばで伝える ことができる。



○単元のめあてに対して3人で話し合いながら共同編集でまとめをした後、フォームを使って振り返りを行いました。5年の授業を行わない担任の評価が心配されましたが、「スライドへの書き込み」「毎時間の振り返り」「フォームのアンケート結果」などを参考に評価することができました。

【取組内容】 1,2年生は文字入力などのリテラシーの育成から

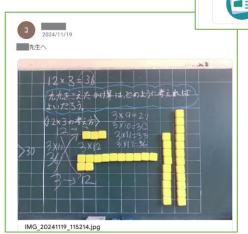


低学年は、まずはタブレット操作に慣れることが肝心です。文字入力に慣れない子どもには、左写真のように母音と子音のシールを貼って徐々に慣れさせます。

週末はGoogle Classroomを使って、先生からの連絡に「はい」「わかりました」などの簡単なコメントを返したり、自分が取った写真を送信したり、録画した楽器演奏の見本を見ながら練習をしたりなどさせています。

授業では、自分の考えを写真で送ったり、Screencast で動画を撮って送ったりさせます。







九九をこえたかけ算の計算のしかた

私はこう考え ました。先 生!あってま すか?

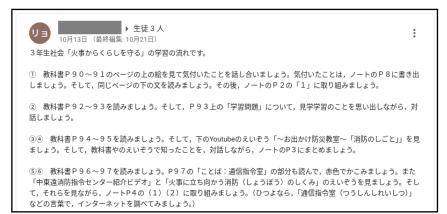
Screencast - 11/18/2024

https://screencast.apps.chrome/

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

瀬戸内町立諸鈍小学校(鹿児島県)【指定校】 及び伊子茂小, 西阿室小, 与路小, 池地小【協力校】

【取組内容】 動画教材の活用やオンライン授業の活用





社会科や理科では、クラスルームに単元 の「学習の流れ」を提示し、調べ学習に役 立つ資料, 例えば (NHK for school や You Tubeなど)も添付しておきます。そうする ことで、先生がいなくてもガイドを中心に 授業を進めることができます。



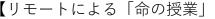
加計呂麻の各学校は、奄美大 島本土からさらにフェリーで渡っ た離島にある学校です。そのた め、費用や船・飛行機の欠航など の課題がありました。

そこで、Google Meetを活用し た外部専門家による授業を企画します。

今年、本校では、「薬物乱用防止教室」や「命の授業」をオンラ インで行いました。また、船の欠航などの理由で「子どもたちは 登校できたが、先生が出勤できない。| という場合には、担任が 自宅からリモートで参加し、Google

Classroom等を使って、その日の学習の指示を出します。







【リモートによる「命の授業」】【担任が自宅からリモートで指示】

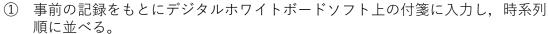
【取組内容】 研修会もクラウド利用で業務改善



1 授業を視聴する

- 事前に授業観察用資料を読み、割り当 てられた児童の動画 (YouTube) を視聴する。
- 子どもが言ったことの事実,教師が言ったことや行ったことの事実,学習課題 や活動内容の事実を書き出す。





② 子供の姿や教師の姿、授業の流れについて情報を共有する。

3 付箋整理し,分析する

① 青の付箋 (子供の姿) が,目指す児童の姿に迫れていたら「〇」,迫れていなかったら「 \triangle 」を書き込む。

② 子供の姿(○)(△)を共有し,類型化し,類型化したものに名前をつける。

4 これからのことを皆で考える

- 課題を解決するために、学校全体として「短期的にできること」「長期的に 取り組むこと」の提言を考える。
- 5 分科会ごとに発表し、共有する



<研修会を実施して>

- 繰り返し児童の様子を見られたのはよかった。一つの授業の様子を複数のカメラで捉えており、今までのオンライン開催の授業より分かりやすかった。
- 何と言っているのか声が聴きづらく、表情も読み取りにくかったが、子どもの学びの様子をじっくり見ることができた。機材で解決できる部分もあると感じる。
- 参加者が一校に集まる「移動時間」と「旅費」,及び「印刷費」のカット,さらに当日の協議時間の増加並びに参加者のオンライン研修経験の機会そのものの創出という点で有効であった。移動コストのかかるへき地や島嶼部ほど効果が大きい印象である。
- チャットで、教育委員会や各学校の校長をはじめ、関係の先生方に随時進捗状況を見てもらえることで、計画・運営がしやすかった。